

令和4年11月30日

編集発行

足立区青少年委員会
広報部

足立区教育委員会
青少年課

<http://adachi-seishounen.jp>

足立区青少年委員会だより



区の花：チューリップ

あだち



委嘱式

令和4年4月1日付で103名の委員に教育委員会より委嘱されました



足立区青少年委員会会長
多島 三好

6月より3年ぶりに各ブロックで教育懇談会を開催しています。その中で各学校の校長・PTA会長等にコロナ対応を伺うことができました。

マスクをしていることにより児童・生徒の顔の表情がわかりづらく目で判断しなければならないそうです。また、マスクが衣服の一部になつてるのでマスクを外すことをすすめられなくなつているそうです。

学習面ではICT化で各学校にタブレットが配布されリモートでも授業をしていますが、児童・生徒の反応は、先生方が心配するほどではないようです。また、登校拒否の児童・生徒が参加することができたそうです。学校側としては、ペーパーレス化もわかりますが、書く力や考える力も同様に進めなければいけないと意見されておりました。

そんな中、第7波の新型オミクロン株が猛威を振るいました。一部のブロック教育懇談会が延期・中止を余儀なくされ、大切なコミュニケーションの機会が失われてしましました。

9月以来は新型コロナウイルスも少しずつ収束に向かっています。これから行事を各専門部で会議を重ねながら委員とのコミュニケーションを取り、企画実施してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

子どもたちに寄り添い 見守りを続ける



足立区教育委員会
青少年課長

山田 勉

青少年委員の皆様方には、青少年の健全育成にご理解とご協力を賜り心から御礼を申し上げます。次代の社会を担う青少年が心身ともに健やかに成長するために、家庭や学校だけではなく、地域社会の役割も重要なと考えております。新型コロナウイルス感染症拡大により、活動が制限され、子どもたちの生活や教育環境が激変しております。新しい生活様式はストレスとなつていることと思ひます。こんな時代だからこそ地域全体で子どもたちが明るい未来を持つよう寄り添い見守ることが大切だと実感しております。各地域での実情に即した活動は子どもの変化を早期に把握し献身的にご尽力いただいております。改めて感謝いたします。

時代の変化に柔軟に対応しつつ、子どもたちの安全を第一に活動されている青少年委員の皆様のお力を借り

ながら足立の子どもたちがたくましく生き抜く力を育み成長するようその役割を担つてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

Aフェスタでの子供たちの笑顔、成人式に臨む若者のキリリとした立ち振る舞い。今でも懐かしく思い出します。



退任にあたり 思うこと

前副会長 川下 勝利

前第2ブロック 矢口 悅道

令和4年3月31日をもちまして、青少年委員を退任いたしました。9期にわたる年月は、多くの友人に出会い様々な経験を積むことができた大変貴重な期間でした。このような経験が新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動の縮小を余儀なくされた退任前の3年間が残念でなりません。

青少年委員としての大きな活動の一つとして、学校と地域のパイオニアになることが挙げられます。あたりまえのように学校を訪問し、先生やPTAの皆さんと話し合いをしていました。

自分はPTA役員を経験後に引き受けましたので、活動内容はそれなりに理解していました。最初の方は定例会、部会へは行かれることもありましたが、出なければならないと思い遅刻してでも出席する努力をしました。後半は仕事上の拘束もあり残念ながら殆ど出られませんでしたが、休日に開催される地域での活動を中心に地少協、住区センター児童部へは積極的に参加するようになりました。

担当する江北小学校と高野小学校の統合により青少年委員が1名減員になりますがコロナ感染症の為、最後の期は何も活動が出来なかつたことが心残りです。素晴らしい仲間に出会えた青少年委員の皆さん。もしもしたらこれから地域を超えた一生付き合える仲間を見つけることが出来ますよ。私は見つけました。

なかなか感染拡大の収束が見据えられない中ですが、新たに委員に就任された皆さまの更なるご活躍と青少年委員会が足立区の子供たちの健

全育成のために益々活動されますことを祈念し、退任にあたつてのお礼の言葉といたします。

青少年委員会退任者紹介

令和4年3月31日付

第1ブロック 今井 しづ江

第2ブロック 矢口 悅道

第4ブロック 川下 勝利

第6ブロック 石川 浩司

第7ブロック 岡本 勝利

第7ブロック 金子 一

第8ブロック 速水 雅彦

第9ブロック 遠山 辰雄

第11ブロック 土岐 理恵

第11ブロック 加藤 清典

第13ブロック 丸岡 朋子

第13ブロック 寺嶋 政

長年にわたり、青少年健全育成活動にご活躍いただきありがとうございました。

11月16日東京都府第一本庁舎において前青少年委員会副会長川下勝利様と元青少年委員会副会長田中実様が「青少年健全育成功労者」として

東京都表彰を受けました

11月16日東京都府第一本庁舎において前青少年委員会副会長川下勝利様と元青少年委員会副会長田中実様が「青少年健全育成功労者」として東京都表彰を受けました。

ブロッック教育懇談会

「コロナ禍により加速された

ICT教育

7月9日、ギャラクシティにて「コロナ禍におけるデジタル教育」をテーマとして教育懇談会を開催し、各校の校長及びPTA会長に参加していただきました。

本会は、各校の校長から、事前にレポートとしてまとめていただいた

コロナ禍におけるデジタル教育に係る取組み状況や成果・課題、これら

のICT教育への取組目標など、

新型コロナウイルス感染症の影響で大きく加速したICT教育の現状について発表していただきました。また、PTA会長からは、保護者の観点から、デジタル教育への期待や不安、家庭教育として取組むべき課題などについてお話をありました。

各校の校長は、コロナ禍により教育現場が大きく混乱させられたものの、5か年計画であったGIGAスクール構想による児童・生徒1人1台タブレット端末環境の実現が早期化し、ICT教育の推進が一段と加速したこと、前向きに捉えており、各校ともデジタル教育に対しても積極的に取組んでいる様子が伺えました。

今回の教育懇談会を通じて、各校

のデジタル教育に係る取組みや成果・課題を詳細に把握できた事は、我々青少年委員にとつても大変有意義な会となり、児童・生徒が、より一層情報端末を適切・安全に活用できるよう、学校としても地域の支援リーダーである青少年委員からのサポートを期待していることを改めて実感いたしました。

「性の多様性に関する対応

～標準服・校則～

6月21日、梅田地域学習センターにて八尋崇教育委員会教育指導課長に講話を頂戴して、その後各学校の取組みについて報告をしていただきまし

た。今回の話の一番のスタートは「人権」です。みんなの人権の意識、一人ひとりを大事にしなくてはいけない時代になつてきています。まずは相手の呼び方。あだ名や、呼び捨ては不適切であるといった考え方です。

各校の校長は、この2年間は子供たちにとつても我慢の年でした。今年度は宿泊行事等も再開し、団体生活の指導的重要性が再認識されました。また、子供たちにタブレット端末が貸与されましたが得手不得手があり、先生方のご苦労もあつたようです。また『デジタル化社会が進みペーパーレスとなりSDGsに貢献している』といつたご意見もいただきました。

世の中でもLGBTや、人々の多様性が認識されるようになつてきたにもかかわらず、学校で使われている色々なものが変わつていかない現状が

あります。それを変えていかなければという流れの中でようやくたどり着いたのが、標準服そして校則です。

標準服については、自分たちが着たいと思う形を選べるようになります。LGBTの人たちだけのものと

いうわけではなく、スカートが苦手、冬はスラックスがいいというような一人ひとりの希望に寄り添う動きが

進んできています。男子はスラックス

ス、女子はスカートという男女画一的な区別ではなく、動きやすさや防寒性などの機能別に分けられ自由に選べるものになります。

校則は、学校が決めていた「学校のきまり」から、自分たちが社会に出たときに困らないように生徒が主体的に考え、自分のためになり、守ることができる学校のきまりになるようにならなければなりません。

講話を頂戴した後に各学校からは、○いろいろなものが見直されている時期であり、自分の固定概念を変えていかなければならない。

○多様な価値観を大切にしていくために、我々教員も対応するための力量が必要になつてくる。

○子供たちが異なる価値観を許容で

きる教育をしていくことが大事。

他にも前向きなご意見をたくさんいただき、子供たちの未来を見据え

た教育方針やお考えに深い感銘を受けました。私たち青少年委員も学校と協力して、子供たちのために少しでも力になれる活動を進めてまいります。

「コロナ禍が教育現場を大きく変えた」

第7ブロック 西村 照美

7月11日、谷中中学校体育館にお

いて、地域内の幼小中高の園長・学長、PTA会長、主任児童委員、スポーツ推進委員の方々をお迎えし教育懇談会を3年ぶりに開催し、テーマにそつて、沢山のご意見をいただきました。

この2年間は子供たちにとつても我慢の年でした。今年度は宿泊行事等も再開し、団体生活の指導的重要性が再認識されました。また、子供たちにタブレット端末が貸与されましたが得手不得手があり、先生方のご苦労もあつたようです。また『デジタル化社会が進みペーパーレスとなりSDGsに貢献している』といつたご意見もいただきました。コロナ禍によって対面指導と融合したハイブリッド型の授業を可能とする方向性が明確になつたようです。とても有意義な教育懇談会を開催することができました。

新任研修会を終えて

第4ブロック 内海 博子

コロナ禍の中、新任研修も開催できるのかどうかと心配されいましたが、9月28日こども支援センターげんきの研修室で開催することとなりました。

当日は大山教育長をお迎えし、多島会長の講演とグループディスカッショ�이nで有意義な時間を皆さんと共に過ごしました。

今回青年委員を受けて「青少年委員の役割と働き」という多島会長の講演で漠然とした考えが少しは理解できたと思い、グループディスカッショionでは諸先輩の皆さまにご教示いただきました。「学校と地域が円滑に進むように学校とは親睦を深め、地域には信頼を得ることが大切」というお話が心に残りました。

まずは、私にできる事から少しづつ始めていこうと思います。



グループディスカッショionの様子



教育長ご挨拶

第7ブロック 寺島 恵美子

子ども支援センターげんき研修室にて新任研修会が開催されました。はじめに大山教育長よりご挨拶をいただき、これから社会を見据えた学力観と学校教育にタブレット端末が活用され子供たちが主体的に考え、そのグループ枠の中で他者の考えに触れて理解を深めていく教育推進のお話がございました。

多島会長の講演後の各グループの討論では先輩委員の体験談やアドバイスをいただき、子供たちの為に何ができるかを改めて考える良い機会となりました。

学校と地域のつながりを大切に、子供たちに寄り添い自らの可能性を伸ばし、未来に羽ばたいていけるよう共に歩んでまいります。

研修部の活動

研修部長 高橋 将郎

コロナ禍となり3年。徐々に活動再開へと動き出しました。まだまだ、平常の活動は厳しい状況にある中、新任の方々の活動の不安・疑問等々を取り除くべく、新任研修会を7月28日に予定しておりました。やはりコロナという強敵に遮られ延期になりましたが、皆さまのご協力の下、9月28日定例会後に開催することができました。本来準備していた内容は変更し、短時間となりましたが、先輩方との交流は活動のヒントになったのではないかと思います。

今後の活動も、研修部一丸となり取り組んでまいります。

事業部の活動

事業部長 渡邊 淳子

コロナ禍で活動自粛が続いている中、区役所本庁舎アトリウムにて年中行事である「端午の節句」「お月見」の飾り付けを実施することができました。

新型コロナウイルスによる制限も緩和が進み、飾り付け以外の例年の活動が再開できることを期待し、新たな活動の計画実施に向けて準備をすすめています。

一つひとつの事業を大切に『元気で明るく楽しく』をモットーに事業部一丸となって活動してまいります。

青少年委員会ホームページ
QRコードからアクセスいただき、ぜひご覧ください。

青少年委員会ホームページでは、委員会だより「あだち」でお伝えできない活動内容も掲載しています。左にあるQRコードからアクセスいただき、ぜひご覧ください。

編集後記

広報部長 吉田 雅子

新型コロナウイルス第7波の影響で一時的に活動の自粛を余儀なくされました。その後行動制限の緩和もあり、感染防止を講じながら各ブロック、専門部、委員会の活動が活発になってきました。

広報部としても、充実した紙面をお届けするために活動でできることを嬉しく思います。取材などは模索が続いているのですが、情報収集を常に心がけています。これからも学校や地域と関わり、活動していく様子をお伝えできるよう広報部一同協力していきたいと思います。